

平成 28 年度第 4 回ほっと おおつち運営推進会議報告書

開催日時	平成 28 年 1 月 30 日 水曜日 14 時～
開催場所	ほっと おおつち
出席者 合計 10 名	地域代表 1 名、 民生委員児童委員 1 名、 ボランティア団体 1 名、 地域包括支援センター 1 名、 大槌町役場介護班 1 名、 事務局 3 名
<p>議 題</p> <p>1. 利用状況について</p> <p>別紙資料にて、28 年度分の利用延べ人数と、10 月分の利用人数を報告。新規利用者を包括支援センターに 2 名紹介してもらったことにより利用者は一時増加したが、10 月に入って利用者 6 名、介護度が高くなり長期入所や入院者が増えたことにより全体数が減少した。</p> <p>訪問介護による安否確認利用者は、一人暮らしの方が多いため増加している。</p> <p>2. 外部評価について</p> <p>昨年は締切近くに関係書類を配付したため、委員は大変だったと思う。今年度分は今日の会議で配布するので、委員の皆様には昨年同様の手順で作業の方を宜しくお願いしたい。</p> <p>3. 職員体制に関して</p> <p>10 月 1 日付で、管理者が前任の加治木より千葉に変わったことを報告した。</p> <p>【委員からの質問意見等】</p> <p>Q. 利用者数が減ったとの事だが、現在受入人数は余裕がある状態なのか？</p> <p>a. 施設としては利用受入人数の余裕はあるが、職員は不足している状況。相談内容に応じながら受け入れていきたい。</p> <p>Q. 利用者の介護度が下がる事は有りうるのか？</p> <p>a. 高齢の利用者が多く、どちらかと言うと介護度が上がる傾向があり、下がる事はなかなかない。</p> <p>Q. 訪問介護の安否確認とは何？</p> <p>a. 利用者が来所していない日も、必要に応じて自宅に訪問して健康管理や薬の配備・残薬の確認を行ったりしている。一人暮らしの利用者の増加により、サービス回数も増加している。</p> <p>Q. 先日も津波注意報が出たが、自然災害等で避難指示が出た場合、施設の対応はどうなるのか？</p> <p>a. 施設自体は避難対象にはならなかったが、職員については二次災害を防ぐため、バイパスより海側に住んでいる職員には自宅待機を命じた。利用者については、一人暮らしの方を優先して見守り訪問や電話確認を行うようにしており、今回もご家族が不在の方を施設に連れて来て避難させた。今後は、ご家族の希望をふまえ、施設としてどのように対応していけば良いのか検討したいと思う。</p> <p>Q. 在宅での就寝時、何度もトイレに起きており大丈夫かなと不安になる。</p> <p>a. トイレが近くなって目を覚ます時は、部屋を暖かくしたり、ゆたんぽを使うなどして体を温めれば有効と思われる。その際はくれぐれも低温火傷には気を付けて欲しい。</p>	